

**第9回 大森駅周辺地区グランドデザイン策定にかかる学識者検討委員会
議事録**

| | |
|--------------|---|
| 日時 | 平成23年2月21日(月) 午後6時～午後8時 |
| 会場 | 大田区役所 本庁舎2階 201.202 会議室 |
| 出席者 (順不同) | 学識者検討委員会メンバー：中井委員長、屋井委員、村木委員、池邊委員 庁内検討委員会メンバー：杉坂再開発担当部長、水井経営担当課長、田中福祉管理課長、伊藤まちづくり管理課長(交通企画担当課長兼務)、鈴木都市計画担当課長、黒澤都市開発課長、齋藤まちづくり推進部副参事(調整担当)、杉村都市基盤管理課長、岡田連続立体事業課長、原大田図書館長、森永大森地域計画担当課長(司会) |
| 傍聴者 | 10人(アンケート実施) |

1 開会

2 学識者検討委員会委員、庁内検討委員会委員の紹介

3 学識者検討委員会開催 (【 】:学識者、():庁内委員)

(議事は中井委員長)

■グランドデザイン原案について

【中井委員】

今日はグランドデザインの本編とパンフレット形式の概要版について、ご意見いただきたい。今回が最後の学識者検討会ということもあり、言い残されたことがあれば意見ををお願いします。

【池邊委員】

この検討会も第9回ということで、長く検討してきたなと感じた。蒲田と大森を差別化することが難しかった。大森駅周辺地区は、大森駅と大森海岸駅の間の部分と台地の部分があり、それぞれが特性を踏まえたエリアの名前に変わって良くなったと思われる。本編、パンフレットとも大森らしさが入って、蒲田との差別化もできているかと思われる。当初、議論してきたエリアの取り方については、東口の方は大森海岸駅から平和島公園や大森 海苔のふるさと館の方まで、人を回遊させられるかということを検討してきたが、結論からするとアクションプランがやや狭い範囲の内容になったかなという気がする。縦に鉄道が通っていることで、東西方向のアクセスがなかなか取れないため、もう少し横の広がりが出せたら良かったと思う。それらは、今後の課題と思われる。今後は、エリアマネジメントの記述部分などもソフト面を加えるなどして修正し、地元の協議会などでの展開を考え、大森らしい文化、海苔の体験などで、外国からの来訪者を呼

べるのではないかと考えられる。大森をどのようにしてPRしていくのかが、見えてきたかと思われる。

【村木委員】

アクションプラン9-⑤「心身ともに暮らしやすいまちの推進」が、他のアクションプランとやや異なる印象を受ける。困っている人への声かけや心のバリアフリーについて、具体的に何をするのか分かりにくい。これを推進する組織をつくるなどの内容を追加した方が分かりやすい。また、アクションプラン10-②「地域の見守り体制の構築」との違いも出したほうが良い。エリアマネジメントの展開については、NPO、地域住民、協議会、商業事業者には、それぞれに組織体があり、エリアマネジメント組織というのはすべてを含められるというものなので、図で表示されている赤い枠を傘のような形にして描けば良いのではないかと。その方がエリアマネジメントのイメージがしやすい。

(田中委員)

アクションプラン9-⑤については、区の取り組みというよりは、考え方を中心にユニバーサルデザインの基本方針で示している。アクションプラン10-②の高齢者の見守りについては、高齢事業課所管にてすでに取り組んでいるものはあるが、現在、暗中模索をしている状況である。

【屋井委員】

ランドデザインの原案については、良くなってきたと思う。緑については、現在あるものを残していこうという考えだが、一方で公園などは臨海部にもあり、それらを積極的につないでネットワーク化していけば良いのではないかと。27ページの回遊イメージは、外から人が流入してくるというイメージはあるが、ただ車が入ってくるようにも見えてしまう。もう少し、緑の空間を歩きたくなるような内容も含めて表現できるのではないかと。また、アクションプラン7-③の「駅及び駅周辺の交通環境の改善」の自転車の箇所では、タイトルと記述内容をあわせてはどうか。タイトルに「道路空間の整備」と示すことで良いかと思われる。

(杉村委員)

自転車については、区の自転車等利用総合基本計画でも、駅周辺に自転車が集まって良いのかという話も出ており、今後は自転車等駐車場なども含めて考えたい。アクションプランのタイトルは分かりやすく整理する。

(森永委員)

緑のネットワークについては、アクションプラン6-③の「心地よい市街地の形成」でも若干触れている。27ページの回遊イメージについては、しながわ水族館や平和島レジャー施設なども含めた表現で工夫したい。

【池邊委員】

アクションプランの「自転車ロードマップの作成」については、利便性だけでなく快適性、あるいは自転車に乗って行くと、緑が多いところまで行けるというような表現を入れてはどうか。

(杉村委員)

自転車の分野については、自転車等駐車場だけでなく、快適に走れるまちを目指したいという思いがある。自転車レーンのような取り組みも行っている。これは単体ではなく、ネットワーク化していくことも重要である。自転車のネットワーク環境、臨海部へのアクセスも考えたい。区民が気軽に行けるようなネットワークづくりを考えたい。

【中井委員】

全体の構造として、「浜風かおるにぎわいエリア」と「文化かおる緑のエリア」があって、それぞれの取り組みを示す形になっている。その両エリアが、目標7の都市基盤整備で両方を連携させているという形になっている。こういう構造では難しいかもしれないが、両エリアの交流、回遊の表現をふやす工夫が必要である。

目標3で臨海部と駅との交流が示されているが、大森貝塚、馬込文士村などからも臨海部の方へアクセスするという考えを盛り込んだら良いのではないかな。もっと大きな回遊のイメージが欲しい。45ページ以降の今後のまちづくり推進の部分は、大森の地域性をあまり意識していないように感じる。地域の状況や課題、歴史的経緯も踏まえた内容を入れてはどうか。

■パンフレット(案)について

【村木委員】

パンフレットは見やすい印象を受ける。ただし、「浜風かおるにぎわいエリア」が東、「文化かおる緑のエリア」が西で、パンフレットを開いたときに、目標の1が右側にきてしまい、やや違和感がある。また、最後のページには実現に向けたエリアマネジメントのイメージも入れたほうが良いかもしれない。

【屋井委員】

羽田空港から世界につながるイメージなど、周辺部も意識する表現をもう少し追加できないか。

【池邊委員】

都市基盤整備の図が、駅近だけのイメージになってしまっている。東西への広がりが出るような書き方ができないか。この地図で何を示すのか明確にしたほうが良い。

また、各アクションプランが文字の羅列ばかりなので、区民も一緒にまちづくりに参加したいと思えるような内容を追加し、楽しい表現をして欲しい。将来イメージについては、住環境のイメージは山王の歴史・風格というよりは新興住宅地のように感じる。

カフェテリアの絵はジャーマン通りにあればいいと思う。インフォメーションセンターは、何のイメージなのか分かりづらいので表現を工夫したほうが良い。

(森永委員)

イラストについては、インフォメーションセンターについて書き込む、もしくは、解説などを追加し、補うことも考えている。住宅地については、もう少し工夫していきたい。ジャーマン通りのカフェも解説を入れれば、ご理解いただけるかと思われる。

【中井委員】

パンフレットの基本的な構成として、開いていくとどんどん内容や情報量が充実していくというのが大原則である。隙間が多い印象を受けるので、提供する情報量の密度を上げていただきたい。アクションプランの全てを説明するのは、やや多すぎるが、優先度の高いものを表現してはどうか。多少の強弱はあっても良いだろう。「浜風かおるにぎわいエリア」のイメージについては、にぎわいを感じられるように工夫が必要である。裏表紙の内容は必要であるが、表現が硬いので工夫してほしい。写真の使い方も工夫してほしい。概要版は多くの人目に触れるので、皆さんも、いろいろと意見があると思われる。

【屋井委員】

地域住民と区民、居住者など言葉の表現を再度整理したほうが良い。

(森永委員)

今回は原則的に、地域住民・事業者・行政という表現を使っている。居住者という言葉、居住地・住宅地の違いで考えると、居住地は住宅に商業も含めたという意味合いを表現している。

【屋井委員】

これからの取り組みは、地区を単位にしながら、範囲を広げるようなので、だれを対象にして、一緒に取り組むのかを考えたほうが良い。

【村木委員】

4面見開きの上にある「ともに創る」というフレーズが分かりづらい。また、アクションプランをどのようなタイムスケジュールで進めるが重要だと思う。はじめに何をやるのかをパンフレットに記載しても良いのではないかと。

■その他について

【中井委員】

最後に、蒲田地区と大森地区で3年間ランドデザインについて議論してきたので、先生方から一言ずつお願いします。

【村木委員】

地域のまちづくりの状況や、駅の東西の違いを踏まえる必要があり、難しい問題だと思った。これを実際に実現するためには、地域でできることについて考え、地域は行政をどう使うのか、それぞれの役割で進めていくのかなどを整理し、「協働のまちづくり」を進めていくことが、第1歩かと思われる。

【池邊委員】

大森というエリアは、大森貝塚のあることから、昔から人が住んで、営みと文化があったと思われる。羽田空港の国際化を踏まえ、貝塚や海苔づくり体験など、外国人が2～3時間、滞在するのに良い資源があると思われる。都市基盤の取り組みなど難しいこともたくさんあるが、とりあえず楽しいことから良いので、来年度からできることを進めてもらいたい。今後、地域からたくさん発信される情報については、ホームページなどを活用してほしい。

【屋井委員】

これからは、住民などが声をあげ、参加しないとまちづくりが難しいのではないかとと思われる。地域の持っているポテンシャルを高めて、行政だけでなく地域が責任を持って進めていくようなことが共有できるのであれば良い。一刻も早くまちづくりを実現してほしい。

【中井委員】

蒲田地区と大森地区の計画策定をお手伝いして、専門分野である都市計画の視点から2地区の違いを述べたい。蒲田地区は、戦災復興整備を駅の両側で行ったが、30～40年経過し、現在は時代遅れとなり、再度やり直す状況にあると思う。大森地区は東口ではある程度は整備されたが、その他には計画されたものが整備できていないところもあるため、それを踏まえて、どのようにまちづくりを進めていくのか、という状況である。つまり、蒲田は以前に整備した公共スペースがある。狭くて使いづらい問題があるが、少なくとも一定量のスペースがある。そのようなところは、まちを変えていくという種地空間を活用して、行政として何ができるかを見せたほうが良い。公共空間の中でできることがある。

大森はそれに比べ、品川区との区界も近く、行政だけで整備できるスペースは、東口を除いてほとんどない。何をするにしても、地権者や鉄道事業者と一緒にやらなければならない状況になっている。つまり、比較的早い時期から地域を巻き込んで取組んでいく必要があるのではないか。協働のまちづくりが強調されているが、みんなで一緒にやらないといけないという意識を共有して、取り組みやすい事業から進めたほうが良いと考えている。

(杉坂委員)

3年間にわたり、学識者検討委員会やその他の打合せなどもあり、委員の皆様にはお忙しい中、ありがとうございました。本日の指摘を受け修正し、ランドデザインを完成させたいと考えている。まちづくりは、ランドデザインをつくっておしまいではなく、これは、スタートラインであり、地域の皆様とどのように実現するのが重要と認識している。また、まちづくりの実現に向けて、先生方にもお力をお借りする場面もあると思う。その時はまたよろしく願い申し上げたい。3年間、本当にありがとうございました。

以上

○当日傍聴された方からのアンケートのまとめ（要旨）

| ご意見 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・大森らしさである貝塚や海苔すき、緑を結ぶサイクルロード等を活かして、回遊路を考えて行けたら素晴らしいと思う。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン3-①②のまちなかの回遊性と臨海部や羽田空港へのアクセス利便性を積極的に進めて欲しい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン9-⑤には、委員からの指摘があった通り、ユニバーサルサポーター等の明記があった方が良いのではないだろうか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ランドデザインなので、アクションプランはもっと具体的に記載して頂きたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・作成したランドデザインをどう実現していくのかが問題である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・着手しやすい項目から、期間を決めて、取組めたら最高だと思う。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザインの推進」を追加したことは、良かった。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・カラーの概要版パンフレットは、大変素敵であると感動した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・報告書原案は「まち」を作る為というよりも「冊子」を作り上げることが目的になっている感じがした。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインのまちづくりの為には、十分なスペースの確保が重要な条件のひとつであると思う。（例：上下の移動では、エレベーター+エスカレーター+階段+スロープ）狭あい道路という弱みを持つ場所では、ユニバーサルデザインはかなり難しいと思う。まずは、要となる道路の整備が大切である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自転車レーンに関しては、緑の中を走れる様な、との委員の意見があったが、将来的に経済的利益を考えるのであれば、部分的に整備をするだけではなく、それらがつながっている事が重要である。つながっていない場合は、作ったものが無駄になる可能性もあると危惧する。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大森貝塚（国史跡貝塚碑）については、今のまま保全し、貝塚へ行く階段等は傷んでいるので補修して欲しい。合わせて散策路整備等を進めて欲しい。 |